

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社サン電工社 事業本部 熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・会社の経営理念、ビジョン、ミッションをHPやハンドブックにて明確に位置付けています。 ・熊本営業所の経営目標は、毎年、事業計画を作成して周知しています。									8	9									17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・ISOにて法的要求事項順守規程に則り、確認者を定め、順守状況を確認しています。 ・国土交通省が示す建設業法令順守ガイドラインに準拠した業務運営を実施しています。																	16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争防止法の中でも材料や検査結果の透明性、重要情報の流出防止等に留意し、ISOの職務権限規程、業務管理規則にて、問題無きよう管理実施しています。															10				16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・「職務管理規程」にて個別担当の責任者・管理者を定め体制を整備しており、「内部相談窓口」が補完的な役割をえています。																			16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・服務規程に則り、知的所有権の帰属、報告義務、守秘義務及び譲渡等の禁止について遵守状況を確認しています。										8.2 8.3	9									
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・情報管理規程、個人情報取扱管理要領に則り、個人情報の取り扱いの重要性を定め、研修や教育を実施しています。																			16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・上席者は半年毎に社員面談を実施し、社員の意向や満足度などを把握し、施策に反映させています。 ・発注先、協力会社などは、受注～竣工まで密に連絡を取り、求められる品質を期限までに提供しています。																			16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・社員と協力業者は共同の研修や講習を受講することで、法令やルールを順守し、人権や環境に配慮した業務運営に取り組んでいます。					5				8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・熊本営業所のBCPを策定し、毎年6月に震度5強の地震を想定した緊急連絡安否確認テストを実施しています。												9			11		13.1		16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●												8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5				8					12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・ハラスメント防止のガイドラインを営業所に周知し、あらゆるハラスメントも許容しない姿勢を明確にしており、社員から確認書を徴求しています。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・毎月第4金曜日に本社にて実施の安全衛生委員会にWEBで参加し、労災の防止や衛生管理上の注意事項を確認の上、営業所内に周知しています。 ・安全管理責任者が定期的に作業現場をパトロール実施し改善しています。			3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。	●		・現在、熊本営業所には非正規労働者はおらず、取引先へ外向者が1名居る中で、同一労働同一賃金の原則に対応しています。疑問があった際は、顧問社労士に確認する体制を整えています。					5.5			8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・業績を維持しつつ、「子育て」「介護」「治療」と仕事の両立が可能となるように、労働時間の短縮、年休取得12日以上を実施しています。			3		5.5			8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・能力評価制度を定め、求められる能力とレベルを明示しています。 ・新入社員～階層別研修制度を実施しています。				4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・会社として、平成28年に協会けんぽの「健康宣言」を実施し、健康づくりへ取り組み、5期連続で「健康経営優良法人」を受賞中で、熊本営業所も同様の取組みを実施中。							3		8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・熊本営業所の女性社員は、一般事務のほか、現場のバックオフィスの役割を果たし、施工管理の補助業務に対応しています。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議を導入している。	●		・各人がノートパソコンを所有し、必要時にはテレワークや本社や外部等とのWEB会議が可能な体制を導入しています。			3						8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・電子契約システムの導入にて、雇用契約書は電子契約にシフトしています。									8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●					3	4					8	9			12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社サン電工社 事業本部 熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。  
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO14001を維持し、産業廃棄物規程を定め、責任者は廃棄物等の適切な処分を確認しています。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・毎月、電気、ガス、灯油、軽油、ガソリンの請求書から使用量を把握し、電気使用量の抑制のため、エアコンの温度設定の見直しやPC・プリンターのパワーセーブ機能を活用しています。							7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・毎月、電気、ガス、灯油、軽油、ガソリンの種類別の使用量から電力会社の計算式を使用しCO2排出量を把握し、最も影響のあるガソリンによるCO2抑制のため、燃費の悪い車両2台をハイブリッド車に切替えCO2排出削減に取り組んでいます。		2.4					7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・微生物に配慮し、潤滑油や塗料などを使用する際には、養生シートを敷き、直に零れ落ちないように徹底しています。					6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・マイバッグの使用、クリーニングハンガーの返却、ペットボトルの分別収集を実施しています。									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・ダム貯水位計修繕や周辺設備のメンテナンスにおいて、水資源の質と量の保全に寄与しています。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事務所において使用する洗剤やハンドソープは詰め替え式のもの、マーカー等の文具はエコマーク製品を使用しています。									9.4		12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●								6.4						12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			・マイバッグの利用やペットボトルの分別収集、特定プラ製品の使用を極力控える活動を実施しています。										12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			・環境面と健康面を考慮し、自宅からの公共交通機関が不便な場合等を除き、徒歩や自転車通勤を奨励し、2キロメートル以上の自転車通勤には手当を支給しています。								9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●			【予定】2023年5月までに、CO2排出量を1%抑制する予定。(2025年3月までCO2排出量を毎年1%削減)							7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社サン電工社 事業本部 熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・ISO9001を取得し、業務プロセス、職務権限、内部監査制度を維持し、長期的に製品・サービス面において安全性と品質を確保しています。			3.9							9			12.4											
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・建築物の照明設備において、日常的に使用するスイッチはオンオフが簡単にできる大きな形状のスイッチや、センサー付きの照明など、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの設備を設置しています。										9.1	10	11.7									17			
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15				17			
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●									7						12.2	13.1		15							
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●															8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		【予定】2023年5月までに、営業所で可能なボランティア活動や寄付活動を実施予定。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ハザードマップにてどの災害リスクが高いか事前に確認し、防災対策の検討、非常時必需品の確保、非常持出品の選定、避難訓練を実施しています。				4										11.5		13.1				16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4									10.2	11.5		13.1				16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●												9			11	12	13.1								
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・安全衛生委員会などを通じ、SDGsの概要や、当社のSDGs取組方針、SDGsの具体的な取組の資料提供を受け、熊本営業所でも持続可能な社会造りへの貢献を啓蒙しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	【予定】2023年5月までに熊本営業所にて実施し、現地採用の機会を増加します。				4							8.6		10.2									17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・本社で採用活動を実施し、熊本県出身者を採用の際は、熊本営業所に勤務できるように、業容拡大と積極採用を実施しています。															8.5 8.6							17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2											8.6		10.2		12	13	14	15	17		

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。